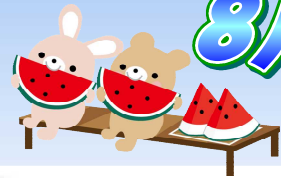


生涯学習情報紙

発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館 第320号

2020 8月



蘇鉄の受粉作業

今年も恒例となりました蘇鉄の受粉作業を実施しました。村民体育大会のナリ入れが楽しみです。



湯湾釜子ども会（地区優良子ども会表彰）



湯湾釜子ども会は、このたび大島地区子ども育成連絡協議会から優良子ども会の表彰を受賞いたしました。永年の地域行事や集落内の看板作り等の活動・各種子ども会行事の活動の功績が認められ受賞いたしました。これから子ども会活動頑張ってください。おめでとうございます。

ラジオ体操で健康づくり

約80年前に「国民保険体操」として制定され、NHKのラジオ体操が広く普及しました。内容は時代を経て「ラジオ体操第一・第二」と再構成され現在のスタイルになりました。全身の筋肉をくまなく使うことができるエクササイズとなっています。様々な健康効果も注目されています。



カラオケ（中央公民館）

カラオケが新しくなりました。新機種は大画面で見やすく、以前のものより楽曲も多くなりました。



8月

夏休みが始まりました。全国各地から奄美の自然を楽しみに大勢の観光客が来島します。コロナウイルスもまだ治まる気配もありません、外出の際はマスク等の着用を徹底しましょう。

回覧板～小中学校の運動会についてお知らせです。

小学校・中学校の運動会につきましては現在のところ実施する方向で計画を進めております。9月13日（日）が中学校、9月20日（日）が各小学校の運動会を予定しております。

信介館長のツイート

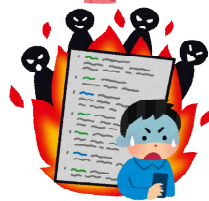
大和村には11の集落が海岸沿いに点在しています。村民体育大会では、単独集落でのチームとは別に国直・湯湾釜の「宮古崎」、津名久・思勝の「おがみ」、大金久・戸円の「みねやま」のように複数の集落でのチームもあります。

ところで、大和村を2つに分ける時に、大棚・大金久・戸円・名音・志戸勤・今里を「西部」とか「下方(しもほう)」、「荒場」などと呼んで分けているのを聞きます。そこで、昔はどういう呼び方で分けていたのかと興味をもっていると、長田須磨さんの『奄美方言分類辞典(上巻)』(村中央図書館所蔵)に、「ウラウチ(浦内)」とは、大和村の中で大和湾に面した国直・湯湾釜・津名久・思勝・大和浜の5つの大字をまとめていう語で、「ストゥバ(外場)」とは、大和村の中で「ウラウチ」以外の海沿いの大字、すなわち、大棚・大金久・戸円・名音・志戸勤・今里などをまとめていう語、とありました。

「宮古崎」と「親川(おやご)崎」を両端に波穏やかな浦(小さな湾、入り江)の内側だから「浦内湾」と呼ぶんだと思いました。それに対して、「外場」の集落では、目の前の海は直に東シナ海の外海(そとうみ)です。特に冬は波は荒く、海からの風の音もすごいと聞きます。それで、「荒場」とも呼ぶのだと思います。

長田須磨さんは、明治35年(1902年)3月、大和村大和浜の太家の長女として生まれ、思勝尋常小学校を卒業しました。上京後、柳田国男氏に師事し奄美の民族について研究し、その後奄美の方言を表記することを可能にしました。著書には『奄美方言分類辞典(上・下巻)』、『奄美女性史』、『奄美の生活とむかし話』、『長田須磨の奄美の民話と昔がたり～奄

人権について考えてみませんか！



「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っています。日本国憲法でもすべての国民に保証されています。あなたにも、私にも人権があります。一人の人間として命が守られ幸せになるための権利と言ってもよいでしょう。しかし、みんなが自分勝手な行動をしたらどうなるでしょう。いやな思いをする人もいるのではないのでしょうか。お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちを持って相手に接する心が大切です。それが人権を尊重することになります。

「すべての人が、生まれながらに、幸せに育るための権利を持っています。」

8月の花～ハイビスカス(仏桑花) ブッソウゲ

赤いハイビスカスの花言葉は



「常に新しい美」
「勇敢」

古くから日本ではブッソウゲ(仏桑花)という名前が親しまれていました。ハイビスカスがハワイの州花になって以降、日本でもハイビスカスと呼ばれるようになったと言われています。中国南部が原産とも言われ、英語では「China rose(中国のバラ)」